

貼るだけ簡単!
手軽に接触感染対策

接触感染 対策テープ

自然素材“消石灰”をコーティングした
抗菌・抗ウイルステープ

ドアノブなどからの“接触感染”対策に!

なぜ接触感染対策が必要?

接触感染とは



咳やくしゃみなどで
菌が手に付く



汚染された手で
ドアノブなどに触れる



人の手で汚染された
ドアノブに触れる



その手で目や鼻、
口を触ってしまう

ウイルスが付着し媒介物となるドアノブや手すりを清潔に保つ必要がありますが、
常に洗浄を行うのは非常に困難です。

ウイルスを不活化させる漆喰塗料を塗布した『接触感染対策テープ』をドアノブや手すりに
貼るだけで簡単に感染対策を行うことができます。



手すり



ドアノブ

取扱店・お問い合わせ

JHPA
(一社)日本住宅塗装協会
Japan House Paint Association

**KANSAI
PAINT**

販売: (一社) 日本住宅塗装協会

サンコー塗料株式会社
茨城県水戸市笠原町1419
sanko-toroyo.jp

辛 触感染 対策テープ

どれだけ効果があるの？

ウイルスA(エンベロープあり)に対する抗ウイルス試験
長崎大学熱帯医学研究所での実験結果



※本結果は同種塗料で異素材を用いた場合の試験結果です。
※本品はウイルス増殖抑制機能を有しますが、感染対策を保证するものではありません。
※薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)の関係上、特定のウイルス名が表記できないため「ウイルスA」と記載しています。

JIS L 1902 と ISO 18184に基づく試験も実施しております。

※「抗ウイルス試験」は新型コロナウイルスに対する試験結果ではありません。

自由に
貼れる

効果長持



詳しい特長は？

漆喰機能があるテープ

ドアノブや手すりに貼るだけで簡単に
感染対策を行うことができます。

選べる3色



※この見本は印刷ですので、実際の色とは多少異なります。

効果持続時間

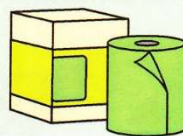
約半年

貼付け後約半年で貼り替えてください。
汚れたら早めに交換をお願いいたします。
※使用状況により効果持続性に差が生じる場合がございます。

【貼付可能な素材】木・塩ビ・ガラス・ステンレス・アクリル など

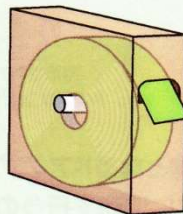
長さは2タイプ

必要な長さにカットして使えるので
無理をして使い切らなくても大丈夫です。



幅10cm×長さ5m

※使用目安(当社調べ)丸型ドアノブ約60個分



幅10cm×長さ130m

学校や介護施設の手すりなど
長尺をお求めの方に



ご使用上の注意 ご使用前に必ずお読みください。

- ・屋内専用です。屋外での使用はお止めください。
- ・本製品に水をかけないでください(アルカリ成分が溶出する恐れがあります)。
- ・人体(皮膚)に直接貼らないでください。
- ・ぬれた手で長時間触ったり、口に入れたり、なめたりしないでください。人体に影響を与える可能性があります。
- ・保管の際には、子供の手の届くところには置かないでください。
- ・直射日光、高温多湿の場所を避け冷暗所で保管してください。
- ・高温多湿の場所ではご使用をお控えください。
- ・貼り付ける前に、貼り付ける表面に付着したゴミ・ホコリ・油分等を取り除いてからご使用ください。
- ・ご使用前に実際の被着体にてテストを行うことをお勧め致します。

- ・素材・状態によっては製品が付きにくかったり、剥がす際に素地を傷めてしまうことがあります。
- ・剥がす際は、指や爪で端をつまみ、ゆっくりと剥がしてください(勢いよく剥がすと素地を傷つける恐れがあります)。
- ・糊の跡がのこる場合がございます。
- ・貼り付けはできるだけ10℃以上の気温下で十分に圧着してください。
- ・製造上、ロットにより色が多少異なり、有効成分が表層に点在する場合がありますのでご諒承ください。
- ・本製品に記載の数値や表現は保証性能ではございません。
- ・品質向上のため、予告なしに仕様を変更する場合がありますのでご諒承ください。

◆お問い合わせは

TEL: 029-353-7812

メール: info@jhpap.or.jp まで

JHPA
Japan House Paint Association

一般社団法人
日本住宅塗装協会

お部屋まるごと 接触感染対策

壁紙の上に塗るだけで驚きの効果を発揮

喰
塗料

内装用 消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

アレスシクイ

自然素材のしっくい(消石灰)で作った抗菌・抗ウイルス塗料

■ 国立大学法人 長崎大学 熱帯医学研究所との検証実験

付着したウイルス・細菌の増殖を抑える
効果が認められています

香港型インフルエンザウイルス(H3N2)に対する抗ウイルス試験
長崎大学熱帯医学研究所での実験結果



ウイルス研究の第一人者でもある安田二郎教授と
アレスシクイの抗ウイルス効果の検証を行いました。



国立大学法人 長崎大学
熱帯医学研究所 新興感染症学分野
安田 二郎 教授



インタビューの詳細い
内容はここから

※本品はウイルス増殖抑制機能を有しますが、感染対策を保証するものではありません。
※[抗ウイルス試験]は新型コロナウイルスに対する試験結果ではありません。

壁・天井用
塗るタイプ



**KANSAI
PAINT**



接触感染対策に、しっかり手洗いをしましょう!!



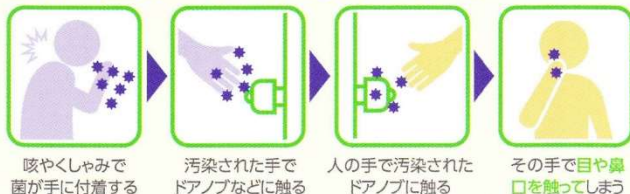
アレスシックイ
関連商品
シートタイプ

ウイルスが付着しやすいドアノブ・手すりに

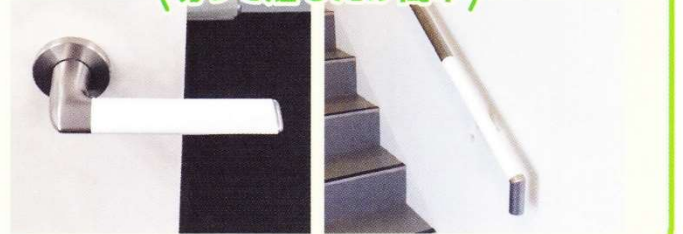


油断しやすい接触感染

静かに…確実に…ウイルスは近づいています!



＼切って貼るだけ簡単／



アレスシックイ 施工上の注意事項

【塗装時の注意事項】●シーラーでの施工は行わず、均一にしっかり塗りこむようにしてください。●上塗り用のローラーは、「WAKABA<大塚刷毛製造(株)>」、「ハイブリッドローラー<好川産業(株)>」または、「アレス漆喰ローラー<株>カンパハビオ」を推奨します。●ローラーは使用前に十分に余り毛を除去してください。●上塗り(1回目)は、均一にEP塗りの感覚で塗装してください。●上塗り(2回目)は、ローラーに塗料をタップリ含ませ、棒塗りで仕上げるようにしてください。●上塗り(2回目)は、下層膜の影響を受け乾燥が早いので、手早く仕上げるようにしてください。何度もローラーで擦ると艶が変わったり、肌荒れしたりと仕上がりを悪くする要因となります。●上塗り(2回目)を塗装する際は、棒塗りで仕上げるため塗り残しが発生し易いので、塗り残しの無いよう注意して塗装してください。●本品は、補修性が悪いので施工の際は十分にご注意ください(EP塗りと同レベルの補修はできません)。●万能ガンなどの塗料カップなど、アルミ製の塗装用具を用いる場合は、塗料が固着し落ちにくくなりますので、作業を中断する時は、丁寧に用具の洗浄を行ってください。●他の塗料との混合は絶対に行わないでください。●塗装時及び塗装後に高温多湿環境下に置かれると、本来の仕上がり、機能を損なう恐れがありますので避けてください。【下地調整】●ボード継ぎ等の段差は、パテ等を用いて適切な処理を行い平滑にしてください(パテは十分に乾燥させてください)。●クロスの上に塗装する場合は、事前に浮きや剥がれ、継ぎ目のメクレなどが生じていないか確認し、不具合箇所は適切な処理を行い補正してください(処理が不十分な場合、仕上がり塗膜に影響を及ぼすことがあります)。●被塗物がヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで十分に汚れを除去し、よく乾燥させてからシーラーを塗布してください(本品は、一般塗料に比べヤニのブリードが発生し易いのでご注意ください)。【養生等】●施工面以外に塗材が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生してください。●塗装後早い時期に養生を除去してください。●アレスシックイ施工面に養生テープを貼る場合(逆養生)は「車両用マスキングテープNo.7239(日東電工社製)」をご使用ください。他のテープでは、粘着材が黄色などに変色し、アレスシックイ施工面に転写されるおそれがあります。【材料の保管・調達】●現場での材料保管は、室内、屋外ともシート掛けを行い、直射日光・凍結を防止し、

高温(40℃以上)低温(5℃以下)での保管は避けてください。●下塗り(シーラー)及び上塗り材は希釈上水を添加後、必ずハンドミキサーを使用してよく攪拌し、均一な状態にしてください。【その他注意事項】●低温(5℃以下)及び高温(85℃以上)の場合は、施工を避けてください。●モルタル、コンクリートなどのアルカリ材質は、水分8%以下pH10以下になるまで十分乾燥させてください。●布クロスには塗装しないでください。●本品取り扱い中は、十分な換気をしてください。特に低温時、密閉状態での施工は避けてください(光沢ムラが発生する場合があります)。●本品取り扱い中は、皮膚に付着しないように専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用してください(本品は高アルカリのため、皮膚の薬傷、目の損傷を生じることがあります)。●コーヒーや醤油などの液体汚れが付着しやすい場所に施工する場合は、オプションとして「アレスシックイEZクリーン(白専用)」をご使用ください(弊社係員までお問い合わせください)。●子供の手の届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないようご注意ください。●その他、詳細は施工要領書をご参照ください。【施工後の注意事項】●本品を内壁仕上げ材として使用する場合、通常のEP塗膜に比べ消臭機能での優位性はありますが、表面への汚れ(ヤニ汚れや皮脂による汚れ)付着は同程度となります。●施工後の塗膜表面に付着した、ヤニ汚れやこすり汚れなどの軽微な汚れは、メラノスポンジなどを用いて軽く水洗いするか、#400程度のサンドペーパーを用いて当該部位を軽く研磨することにより除去できますが、塗膜の主成分である消石灰と一緒に擦り取られますので、その部位の艶感や肌が変わる事があります。尚、研磨作業の際には、削り粉が目に入らないよう保護メガネ・防護マスクなどの保護具を着用してください。●施工後の塗膜表面に醤油やコーヒー、お茶など液体の飛沫が付いた場合、通常のEP塗膜などに比べ、性状上吸い込み易く塗膜内部まで浸透してしまうため、中性洗剤や水洗きによる汚れの除去は困難です。この場合、簡易養生・研磨の上、本品を用いて1〜2回補修塗りを行ってください(但し、補修塗った部位の艶感や肌が変わりますのでご注意ください)。なおオプションとして「アレスシックイEZクリーン(白専用)」仕様がございます(弊社係員までお問い合わせください)。●「アレスシックイEZクリーン(白専用)」を塗装した面を衣類などで強く擦ると、粉化物が付着する場合がありますのでご注意ください。●タバコや線香の煙成分にて塗膜が着色する場合がありますのでご注意ください。

アレスシックイ ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻タオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。本来の目的以外に使用しないこと。指定材料以外のもとの混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。指の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。廃棄物の処理：本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
(化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります)

関西ペイント 液状型漆喰材料の新型コロナウイルスへの効果を実証

2020.10.8

関西ペイントは、10月5日、同社が提供している液状型漆喰材料のSARS-CoV-2（新型コロナウイルス）不活化実証実験を実施した結果、ウイルスの増殖抑制効果が確認されたことを発表した。同社の液状型漆喰材料は、抗菌・抗ウイルスの機能性紙「銀雪」にも採用されている材料。

実験を行った液状型漆喰塗料は、長崎大学感染症共同研究拠点の安田二郎教授と関西ペイントが特許を持つ技術。実験の結果、接触5分で99.9%以上の不活化効果が確認された。



関西ペイントの毛利訓士社長



長崎大学 安田二郎教授

日本古来からの自然素材の建材である「漆喰」は、主成分の消石灰がもつ強アルカリ性により、抗菌・抗ウイルス・消臭、あるいは調湿など優れた機能をもつものであり、長年、日本の生活文化の中で活用されてきた。関西ペイントは、2007年、消石灰塗料化技術を活用した新カテゴリー「漆喰塗料」を創出。2016年には不織布や紙などに塗布可能な高柔軟性漆喰塗料を開発した。2019年には、接触感染対策テープを商品化。抗ウイルスおよび接触感染対策の観点でインフルエンザ流行への対抗策として提案していた。

この間、2008年には大阪大学微生物研究所において抗ウイルス性能を確認、2016年には長崎大学で2回目の検証を行い、4種類に対して抗ウイルス性能があることが確認されていた。そうした中、今年、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、改めて9月、長崎大学の協力を得て、新型コロナウイルスに関する実証実験を行い、効果があることが確認された。

関西ペイントは、『培った技術で社会に貢献』することを念頭に事業を展開。抗ウイルスという観点で2016年から展開してきた同材料が、改めてウイルス対策製品として評価されてことを機に、今後は建材関係だけでなく、幅広い産業へ提供していきたいとしている。ウイルス対策ビジネスは、成長期を迎えているが、今後も社会に必要とされる市場と捉えており、法人企業をはじめ、商業・飲食、医療施設、保育・学校教育施設など多様な産業への展開を検討している。

すでに接触感染対策シリーズでは、シート形状のものやテープ状のものを販売。今後は、玄関やトイレの床などで利用できる抗ウイルス・抗菌マット、漆喰和紙マスクケース、シックイ簡易トレイ、シックイ簡易ベッド、漆喰フェイスシールドなどの商品化を計画している。

なお、実証実験に協力した長崎大学熱帯医学研究所 新興感染症学分野 安田二郎教授は、「2016年の実証実験の結果から、新型コロナウイルスでも良好な抗ウイルス効果が確認できるものと考えていた。今回は5分という短時間で99.9%以上の高い不活化効果が確認できたことは漆喰塗料の潜在能力の高さを感じる。様々なものに塗布できるため、幅広く応用できる汎用性が期待でき、医療や老健施設などにおける衛生環境の向上に役立てることができるのではないか」とコメントしている。



様々な用途への採用を考えているという

プレスリリース

漆喰塗料の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する不活化を実証 ＜わずか接触5分で99.9%以上を不活化＞

2020年10月05日

関西ペイント株式会社

関西ペイント株式会社(本社：大阪府、代表取締役社長：毛利 訓士)は、ウイルス研究分野における第一人者である長崎大学感染症共同研究拠点 安田二郎教授と当社が特許を持つ漆喰塗料の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する不活化実証試験を共同で実施し、接触5分で99.9%以上の不活化効果を確認いたしました。 *本実証は、実験室での評価であり、商品や実使用環境での効果を示すものではありません。

日本古来の自然素材の建築材料である「漆喰」は、その主成分である消石灰(水酸化カルシウム)が有す強アルカリ性により、抗菌・抗ウイルス・消臭や調湿など優れた機能があります。

当社は、2007年に消石灰塗料化技術を活用し、「漆喰塗料」という新たなカテゴリーを創出し、2016年には、不織布や紙などに塗布可能な高柔軟性漆喰塗料も開発しました。同年には安田二郎教授のご指導のもと、ウイルスの不活化実証実験を共同で行い、代表的なノンエンベロープウイルス(1種類)、エンベロープウイルス(3種類)の全てに対して効果があることを実証しています。

当社グループは、今回発表しました漆喰塗料の実証効果もふまえ、既存の建築塗料分野に加え、様々な抗ウイルス商材で防災関連分野のほか、人々の安全・安心に寄与するあらゆる分野などにも展開領域を拡げ、より一層の社会貢献を目指してまいります。

＜長崎大学 感染症共同研究拠点 安田二郎教授のコメント＞

「前回(2016年)の実証試験の結果から、新型コロナウイルスでも良好な抗ウイルス効果が確認できるものと考えていました。更に今回は5分という短時間でかつ99.9%以上の高い不活化効果が確認できたことは漆喰塗料の潜在能力の高さを感じました。様々なものに塗布できるため、幅広い用途展開すなわち汎用性が高く、特に医療や老健施設などにおける衛生環境の向上に期待がもてると思います」

本件に関するお問い合わせ先

関西ペイント販売株式会社
建築販売塗料本部 副本部長 岩崎 浩行
TEL : 03-5711-8904 FAX : 03-5711-8934

茨城県学校生活協同組合員様からのお問い合わせ先

茨城県学校生活協同組合ハウジング部指定店

一般社団法人 日本住宅塗装協会

茨城県水戸市千波町 2074-4

TEL 029-353-7812 FAX 029-353-7813 <https://jhpa.or.jp>